

## 平成 30 年 第 4 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 平成 30 年 4 月 20 日（金） 午後 1 時
- 2 招集場所 大河原町役場 議員執務室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、齋一志教育長
- 4 説明のため出席した者  
教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 八島 良隆、学校教育専門監 池田 尚人
- 5 開 会 午後 2 時
- 6 平 30 年第 3 回教育委員会定例会会議録の承認について  
舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。  
一盃森委員、丹羽委員 署名。
- 7 平成 30 年第 4 回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について  
舟山委員 | 古山委員、齋教育長を指名する。
- 8 教育長報告  
(1) 一般事務報告  
報告第 15 号 平成 30 年度町立小中学校児童生徒数及び施設状況について  
(教育総務課長説明)  
平成 30 年度町立小中学校児童生徒数及び施設状況についてご説明申し上げます。  
資料は 1 ページから 2 ページである。(詳細は資料参照)  
(教育長説明)  
教頭が法制化した昭和 50 年から大河原小学校は教頭 2 名体制であったが、児童数減により、創設以来初めて教頭 1 名体制になった。児童生徒数の減少とともに職員や学校数も減っていくが、当町は近隣市町村に比べると緩やかな減少である。  
  
(質 疑)  
丹羽委員 | 児童生徒数が 2,000 名を切るとどのような影響があるのか。  
教育総務課長 | 施設の状況も見直すことに繋がっていく。また建設予定の給食センターに対する補助がかなり減ることになる。ただし給食費の値上がりには影響しない。  
  
舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。

報告第 16 号 平成 30 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

(教育総務課長説明)

平成 30 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定についてご説明申し上げます。

資料は 3 ページから 4 ページである。(詳細は資料参照)

なお今年度から準要保護の認定基準について、収入は生活保護基準の 1.2 倍から 1.3 倍へ見直しを行っている。

(質 疑)

丹羽委員	本当に厳しい人もいるので、制度の利用を促してほしい。
教育総務課長	申請の仕方が分からないという人もいるので、学校でも全児童生徒に案内を配布し、制度を周知してもらっている。
教育長	生活困窮であっても、まとまった額が支給されるとすぐ使ってしまうという傾向もある。その辺の教育も大事ではないかと思う。

舟山委員 (委員全員に諮って) 承認する。

9 議案

無し

10 その他

(1) 教育長報告

(説明者：齋教育長)

資料は別紙資料である。

I 教育基本振興計画 継続発展へ

大河原町教育研究会 総会の充実

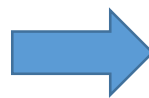
(各種研修会の充実)

教務担当、研究主任＝学力向上推進委

小学校陸上競技大会

町小・中音楽祭 社会科副読本

情報機器



大河原町全体の活力向上へ

II 大河原町の学力向上

1 幸せを呼ぶ「志教育」を

2 分析し対策を立てる 標準学力テスト

・・・宮城県のトップランナー (3月河北新報より)

3 定着・発展させるデータベースの活用

4 大河原小学校 自主公開研究会 平成 31 年 2 月 8 日 (金)

III 子どもの心のケアハウス

※月曜日は「絵本と学びの部屋」が開いている

#### IV 暗唱読本の活用

#### V 攻撃は最大の防御なり

「不登校・いじめを減らす」のではなく、魅力ある学級をどう作るのか である  
「励まし・賞賛・感謝の言葉」

#### VI 「体力向上」の充実

体力も学力も、目的を持って鍛えないと伸びない

#### VII 「国際理解教育」の充実

#### VIII 情報発信の充実

#### IX ゲーム・スマホのより良い使い方

#### X 「備えあれば憂いなし」 いじめ「重大事態」に備える

### <社会教育>

- 1 地域総合型スポーツクラブの設置 平成30年度スポーツ推進指導員配置
- 2 クロスカントリー大会の実施 ボランティアの導入
- 3 中央公民館 リニューアルへ始動開始
- 4 「絵本と学びの部屋」充実発展へ
- 5 旧検察庁跡地 活用

### II 学校経営に期待する

- 1 人事は4月から
- 2 教頭、主幹教諭、教務主任、研究主任、学年主任、事務職員等を学校の中核とし、校長のよき理解者とする
- 3 不易と流行を使い分ける
- 4 校長会で「学校便り」交換

### III 大河原教育事務所から

- 1 宮城県教育基本方針（略）
- 2 人事異動後の情報把握
- 3 教職員の事故防止
- 4 校長の教職員に対する指導と勤務状況の把握
- 5 指導主事学校訪問 大河原小学校 11月7日自主公開研究会
- 6 その他
  - (1) 学力・学習状況調査
  - (2) 平成30年度校長、教頭候補者選考
  - (3) 教育事務所長等の学校訪問

### IV 事故防止

- 1 職員の事故防止
- 2 児童・生徒の事故防止
- 3 危機管理

### V その他

- 1 職員の家庭生活を大切に 家庭の支えがあってこそその教員生活 意識して感謝の言葉を  
ノー残業デー＝家庭の日  
大河原小学校 「教員手帳作成」 愛する家族等の写真を入れて

- 2 法令順守 スクール・コンプライアンス
- 3 給食アレルギー対策万全に
- 4 教員免許状、運転免許証の有効期限確認

(質 疑)

丹羽委員	クロスカントリー大会の「全日本仮装ウオーキング大会」の案は、大いに結構だと思う。是非やってほしいと思う。
教育長	中央公民館も当初予定に無かったが、町長の計らいがあり大ホールまで改修になり、非常に良かったと思っている。
舟山委員 生涯学習課長	放送大学の開始前に、手続きの仕方も教えてほしいという人もいるのではないかと。会場にも表示をしていきたいと考えている。また広報誌でも広くお知らせをしていく予定である。
教育長	大河原に大学という名の付く施設を設置できて本当にうれしく思っている。 また、駅前図書館の絵本と学びの部屋で月1回行っている「星空散歩」だが、池田専門監の外に、仙台市天文台で長年解説などをして勤めていた町内在住の方がお手伝いいただけるようになった。
舟山委員	先日「星空散歩」を拝見しに行ったが、本当に素晴らしいミニプラネタリウムショーであった。是非多くの人に広めて観てもらいたい。
舟山委員 池田専門監	本当に月齢の低い頃から、個人差がある。興味関心の高い子がいる。 医師に言われたことがあるが、人間は生まれた時から持って生まれた気質がある。話し始める月齢も個々に異なるが、心配するものではないとのこと。その個々の気質の上に家庭のしつけなどがあって人格形成につながっていくのではないかと。
丹羽委員	人はそれぞれ違うものだし、個性は大事だと思う。完璧なくても良い、そういう教育もしてほしい。
舟山委員	人を諭すときは、年齢に関係なく強く言うとう反発を招く。静かに淡々と諭すとかえってぐっと心に響き、伝わるものである。
丹羽委員	生涯学習課で育成会事業をやっているが、地区の親子会や育成会、少年野球の状況について、大分加入者が減少している地区もあると聞いている。状況はどうか。
生涯学習課長	全体的に加入者が減少している傾向にあるので、親子参加型の夏休み行事を行ったりしているが、その参加申込は逆にキャンセル待ちが出るほどである。
教育総務課長	少子化、核家族化により、共働きで親も忙しく、親子会や少年野球の参加協力がなかなか難しい現状もあるのではないかと。役員のなり手不足も聞こえている。
一盃森委員	夏休みのラジオ体操などは、親ではなく、退職した世代が主体的にやれば参加いただけるのではないかと。親以外の世代を取り込むきっかけを作ってはどうか。
古山委員	今年度の「明日の青少年を育てる会」では、他人の良いところを見つけようという、地域の方や親子の参加型ゲームを考えている。自他を認めるきっかけづくりになるような機会になればと思っている。
丹羽委員	親や退職した世代も楽しめる行事は、良いきっかけづくりになるのではないかと。

**(2) 各課長報告**

**(説明者：教育総務課長)**

5月の行事予定を説明申し上げる。別紙資料である。

**1 1 次回教育委員会の開催日程について**

舟山委員 | 次回の定例会は、平成30年5月25日(金)午後3時から開会する。

**1 2 閉会宣言 午後2時45分**

平成30年5月25日

署名委員

署名委員